

# ホワイエ *Foyer* イエ

New Union of Architects & Engineers

Tokyo 632

2024.12



2024年12月1日(毎月発行) 定価200円通巻632号第54巻第12号発行/新建築家技術者集団東京支部  
発行人/杉山昇 〒162-0811 東京都新宿区水道町2-8 長島ビル2F tel.03-3260-9810 fax.03-3260-9810  
ホームページ <https://tokyo.nu-ae.com/> E-mail [shinken-tokyo@group.email.ne.jp](mailto:shinken-tokyo@group.email.ne.jp)

- |                          |       |
|--------------------------|-------|
| 03 どうなる？中野サンプラザ建替え       | 石原重治  |
| 04 第49回「地球温暖化について考える」    | 渡辺政利  |
| 05 第33回全国研究集会 in 奈良 速報!! | 山下千佳  |
| 06 ドイツ流「まちを創ること」のすすめ 報告  | 山下千佳  |
| 08 鋸屋根に魅せられて             | 吉田 敬子 |
| 10 アジアンニュース No.23        | T N   |

今月の表紙 提供：山下千佳

11月9日 立教大学池袋キャンパスで公開講座を開催。築地から1918年に移転し100年を超した校舎。中央の時計台の時計はイギリスのデント社製で直径90cmある。本館前の2本のヒマラヤ杉は、高さは約25mで現在も成長中。

写真左下) 立教学院展示館には旧図書館の趣を残した展示室がある。

写真右下) 1920年建造のチャペル内部

## Event Information

◎は新建主催行事 ◆は会員及び交流団体の行事

### 【事務所移転について】

2025年2月から新建全国と東京の事務所を移転します。

現在の新建事務所（新宿区水道町）には、渋谷区代々木から2006年6月に引っ越してきました。18年が過ぎました。現在の事務所39㎡（専用）で移転先110㎡（合計）になり、共有のスペースが増えることで、会議や学習会、コミュニティスペースとしても活用できるようになります。

東京支部会員の岡田昭人さんの「かたちづくり研究所」とシェアします。

現在) 住まい・まちづくりデザインワークス（12月まで）

住所 新宿区山吹町361番地 誠志堂ビル3F \*現在の新建事務所から徒歩10分

### 東京支部

会場は同じ上記の場所です。

◎12/10火 18:30 常任幹事会

@住まい・まちづくりデザインワークス

2025年

◎01/14火 18:30 常任幹事会

@かたちづくり研究所

◎01/28火 18:30 幹事会

@かたちづくり研究所

◎02/11火・祝 13:00 東京支部総会

@新・新建事務所

### 全国

会員及び交流団体 詳細は（ ）に記載された会員へお問い合わせください。

◆12/05木 18:30 一木会「自然素材で造る「自然流健康の家」

ゲスト：柳澤泰博（杉山） @としまち研

◆12/08日-09月 第30回全国建設研究・交流集会 新建協賛 @マロウドインターナショナルホテル成田

◆12/14土 13:30 imaginepeace 音楽のつどい(千代崎) @板橋区立グリーンホール2階

◆12/26木 19:00 見えないところに気を使った大工(金田) @市ヶ谷 DNP プラザ

2025年

◆01/未定土 14:00～ (仮) 原発の危険性 講師：乾康代(柳澤・杉山) 会場未定

◆01/23木 19:00 機器を使わない熱のバッテリー「蓄熱」(金田) @市ヶ谷 DNP プラザ



各地でのイベントや行事情報、ホワイエの原稿も随時募集しています。

下記アドレスまで原稿をお寄せください！ [foyer@shinken-tokyo.org.jp](mailto:foyer@shinken-tokyo.org.jp)

★1月号掲載の年賀広告を募集します★ 皆さまの近況などを添えて新年号を飾りたいです。

画像もしくはPDFデータを上記アドレスへ ご協力よろしくお願ひします。(名刺サイズで2000円です)

## どうなる？中野サンプラザ建替え

2024年度着工予定だった中野サンプラザ跡地などの再開発事業は、当初1810億円だった事業費が約3600億円になる見込みになり、「基本計画からの見直しが必要で、2025年度内の認可申請は困難と事業者側が伝えてきた」との、11月7日の区議会建設委員会での質疑内容が報道され、大幅な計画変更が避けられない状況です。

これまで、中野区の酒井区長は、10月24日の定例記者会見で「施行予定者は、令和6年10月に施行認可申請を取り下げた。本事業のスケジュールは見直しとなる」とし「①今年度に予定していた権利変換計画認可および転出補償契約については、来年度以降となる。②事業計画の見直しは、区と施行予定者の協議となり、これまでに説明してきた拠点施設整備のコンセプトや拠点施設に必要な機能については変更することなく、計画を見直したい。（内容は）協議が整い次第ご説明する。」と述べていました。

\*引用元：2024年11月8日 朝日新聞首都圏ニュース、2024年10月24日 中野区長定例記者会見

### ○中野区立歴史民俗資料館にて企画展 ～ その名は「中野サンプラザ」

- ・中野サンプラザの活動をふりかえる展示会、12月22日（日）まで開催中。時間：9:00～17:00
- ・全国勤労青少年会館（サンプラザ）は、働く青少年の健やかな成長と福祉の増進を図る福祉施設として、1973（昭和48）年6月開館、地下2階から地上20階までの各フロアで開催されたイベント、172回に及ぶ「サンプラザオンステージ」をはじめ、コンサートやミュージカルなどの公演パンフレットやチラシなどを中心に、建設中の全景写真、設計図面（青焼き）も展示されている。

### ○中野ブロードウェイ見学会のお知らせ（予告）

今回は、超高層ビル（住宅・事務所など）を乱立させる駅前再開発などに異議を唱え「地域特性を生かした商店街や住宅・まちづくり（再生）」を追究するためのヒント、アイデアを探りたいと思い計画しました。中野ブロードウェイはまだ行ったことがない。今、どうなっているの？これから、どうなるの？という関心がある方々、ぜひ、ご参加ください。

- ・時期：2025年3月ころ（定期総会終了後）、午後2時ころ集合、GUIDE BOOK（中野ブロードウェイ商店街振興組合発行）を手に館内と周辺を見学、終了後は、意見交換・反省会を行います。（中野ブロードウェイの概要については、ホワイエ2024年3月号をご覧ください）

（東京問題研究会） 石原重治

**4 中野四丁目新北口駅前地区** 第一種市街地再開発事業

土地区画整理事業との一体的施行	施行者 都市計画決定	個人 R5年度
立体道路制度を活用	事業認可	R6年度（予定）
業務・商業・住宅 ホール・宿泊等を整備	事業完了	R12年度（予定）
都市計画駐車場 地域荷捌き等の整備	施行地区面積	約2.3ha
	施設建築物延床面積	約315,000㎡ <small>（想定）</small>



## 第 49 回 「地球温暖化について考える」

渡辺政利

### 気温上昇幅「1.5 度」超す

産業革命前からの気温上昇を 1.5°C に抑える目標を実現するためには、温室効果ガスの 2030 年までの排出削減量を 19 年度比 43% 削減が必要とされてきました。しかしながら、各国が約束した 2030 年の温室効果ガスの排出削減目標が完全に達成されても、世界全体の排出量は 5.9% の削減に留まるとする報告書が提出されました。目標にはほど遠い実態を報告したのは国連気候変動枠組み条約事務局です。「しんぶん赤旗」10 月 29 日付けの報道によれば、この報告書では「195 カ国・地域のうち、今年 9 月 9 日までに提出された排出削減目標を基に分析。各国の取り組みを踏まえると、今世紀末までの気温上昇は 2.1~2.8 度の範囲内に達すると試算」とされます。

この記事に続く同新聞の別記事では、「世界気象機関 (WMO) は 28 日、大気中の主要な温室効果ガスの世界平均濃度が 2023 年も観測史上最高を更新したと発表。「二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)、メタン (CH<sub>4</sub>)、一酸化二窒素 (N<sub>2</sub>O) のいずれも 1984 年の解析開始以来、ほぼ一貫して上昇しており、過去 10 年間は上昇ペースが加速しているといえます」としています。

こうした中、「しんぶん赤旗」2024 年 11 月 13 日付けは、「世界の気温上昇幅『1.5』超す」と言う驚きのタイトル記事を載せています。

この記事では「国連の世界気象機関 (WMO) は 11 日、2024 年 1 月から 9 月までの世界の平均気温が、産業革命前と比べて 1.54 度高かったとする報告書を発表」「地球温暖化対策の国際的

枠組み『パリ協定』が掲げる『1.5 度目標』が大きな危機にあるとしています。」「報告書は、アゼルバイジャンのバクーで開催された国連気候変動枠組み条約第 29 回締約国会議 (COP29\*) の初日にあわせて発表」されたものです。「2015 年から 24 年にかけて観測史上最も暑い年となり、氷河からの氷の喪失、海面上昇などが加速している」「24 年 1 月から 9 月の気温は、太平洋の中央部から南米のペルー沿岸にかけて海面水温が上昇するエルニーニョ現象が押し上げたため、1.54 度を上回った」が、「一方、数十年にわたる長期的な温暖化は 1.5 度未満にとどまっている」としているようです。WMO のサウロ事務局長は「世界のさまざまな地域で見られた記録的な降雨と洪水、急速に激化する熱帯低気圧、猛暑、干ばつ、山火事は新しい現実であり、未来の前触れだ」と指摘。「早急に温室効果ガスの排出量の削減と共に気候変動の監視の強化が必要と訴えた」とあります。

前回の記事でこの夏の日本の気温状況などについて書きましたが、世界の状況と全く共通していることが分かります。

### 国連気候変動枠組み条約第 29 回締約国会議開催

国連気候変動枠組み条約第 29 回締約国会議 (COP29\*) が 11 月 12 日から 11 月 22 日までの予定で、アゼルバイジャン (カスピ海の西側に面し、コーカサス山脈のある国) の首都バクーで開催されていますが、この記事を書いている 11 月 23 日時点では会期が延長されています。期間内では目標とする国際的合意に至らず会期が延期されたものです。

この会議の目的は主に二つの目的が設定されていたとされます。その内「最大の焦点とされるのは、条約が拠出を義務づける先進国から途上国への対策資金の増額」ともう一つは「パリ協定に基づく国別の温室効果ガス削減目標（NDC）の引き上げ」（「」内東京新聞 11 月 13 日社説）です。会議では途上国への対策資金増額について、先進国からは最近経済発展を遂げてきたものの現在 CO<sub>2</sub>排出が突出する中国やインドに対して資金供出を強調するなどや、長年温室効果ガスを垂れ流し現在の地球温暖化原因者である先進国への強い不満が渦巻き対策資金を 10 倍にする要求など、対立的な議論がなされて「本当に団結して取り組むことが出来るのか」など不安がでるような報道がされています。こうした中、イギリスは石炭火力を廃止し「温室効果ガス排出を 2035 年までに 1990 年比で 81% 削減する目標を掲げ、他国にも野心的な目標を示すよう求め」（しんぶん赤旗 11 月 16 日）とされます。このイギリスの決断は、他の報道でも大きく取り上げられました。

昨年や今年の夏のように地球温暖化の進行が、地球人たる人間だけではなく多くの野生生物生

存の危機をつくり出し、地球の姿が大きく変わろうとしているとき、温暖化対策は経済的利益争いを超えて待ったなしの状況にあります。

そんな中アメリカでは「アメリカの利益第一」を掲げ、温暖化抑止を無視するトランプ政権が来年 1 月に誕生します。この政権は地球の危機や人類の将来を憂えるなどという人類生存の根本に迫るような考え方には興味なく、ひたすら「経済的利益」のみに埋没する危険をはらんでいます。正体見たりとも言える資本主義の最悪の部分が突出して、将来の地球の運命に後戻りできない禍根を残すのではないかと不安にさせます。

来月（第 50 回）は国連気候変動枠組み条約第 29 回締約国会議の内容や、トランプ政権が温暖化問題をどのように取り扱うのかなどを、次回原稿完成までの間の報道などに基づいて取り上げてみたいと思います。

（つづく）

\*COP29：COP は C o n f e r e n c e O f P a r t i s （締約国会議）の頭文字を取った略語で数字 29 は 29 回目を指します。

### 第 33 回全国研究集会 in 奈良 速報 !!

11 月 30 日～12 月 2 日 奈良女子大学で開催されました。天候に恵まれ、紅葉が最高でした。参加者は全体で 88 名、東京支部からは、石原重治さん・江國智洋さん・岡田昭人さん・木村美千代さん・佐伯和彦さん・佐藤未来さん・杉山昇さん・高田桂子さん・武市望奈代さん・竹山清明さん・千代崎一夫さん・丸山豊さん・柳澤泰博さん・山下千佳・東京関係では北澤莉多さん 15 名の参加でした。分科会の担当者になるなど、奮闘しました。詳しい報告はホームページや来年の「ホワイエ」『建築まち』誌をお楽しみに！



## 公開講座「ドイツ流『まちを創ること』のすすめ」報告

山下千佳

東京支部では、4月に「秩父宮ラグビー場と神宮球場の現在地での再生提案」の発表会をおこなった大きな反響をいただきました。その後、なかなか継続した動きができませんでしたが、秋にバイエルン州建築家協会登録建築家である水島信さんから来日されるという連絡をいただき、ドイツの景観、まちづくりを知る、日本との違いを学ぶ機会をつくりました。板橋の大山ハッピーロードの再開発反対の運動などを一緒に取り組んでいる立教大学文学部教育学科教授の和田悠さんと相談をし、大学と共催の公開講座というスタイルで11月9日（土）14時から17時、立教大学池袋キャンパス10号館の教室で開催することができました。

講演会には46名が参加、終了後のアンケートは22名の方から寄せられました。東京支部からは、石原重治さん、伊藤寛明さん、江国智洋さん、小金山光男さん、高田桂子さん、千代崎一夫さん、柳澤泰博さん、山下が参加しました。大阪支部から山口達也さんも参加されました。

立教大学のホームページを見て参加された方も数名いらっしゃいました。会場に『建築とまちづくり』誌を展示し、関心のある号を見本誌としてお持ち帰りいただきました。休憩時間に定期購読の申し込みをしてくださる方がいて、とても良かったです。

水島信氏は40年以上ドイツで建築家としてのキャリアを積んで来られ、長くミュンヘンに在住し、「こども目線によるまちづくり」を実地で学ばれました。都市計画を重んじるドイツだからこそ見えてくる都市デザインの課題、住民参加のまちづくりのあり方、市民と行政や社会との関わりについて、ドイツで都市計画、建築設計、まちづくりに携わってこられました。

東京支部とのつながりでは、10年ほど前に「デザイン塾」でお話を伺ったことがあります。久しぶりの再会となりました。

「日本とドイツの都市の環境と景観は何故違うのか」をテーマに、9つの区分に分けて、ドイツと日本の街や建物の写真や水島さんの手書きの図面をたくさん紹介しながら話されました。

①生活文化としての街並景観 ②「美しい街を造る」という勘違い ③風景と景観 ④生活環境としての共同体における権利と義務 ⑤行政の任務と市民の権利 ⑥BAULEIPLANUNG:建設指針計画 ⑦土地利用と用途地域 ⑧建蔽率と容積率 ⑨BEBAUUNGSPLAN:建設履行図と地区計画 ⑩ドイツ流の「街を創ること」の勧め

最後に「街を創る」ということは、都市基盤と建設物で構成する「街並み」を築き上げるということだけでなく、市民生活を包括する共同体に存在する「民主主義」を認識することであるというのが結論とされました。レジメ・資料はホームページよりダウンロードできます。

<https://nu-ae.com/tokyo/241109-kouenkai/>



<アンケートより抜粋>

- ・ドイツと日本における「まちづくり」の根本的な考え方の違い、ドイツは住民の生活を中心として人権を踏まえた街をつくる一方で、日本は経済優先で無秩序に街がつけられていることがわかりました。
- ・日本では計画が出てからの反対運動しかできないスタイルになっている。やはり市民がどんなまちにしたいかということを考えないといけないと思います。日本でも位置付けたいです。
- ・ドイツと日本の基本的人権に対する考え方、法に対する考え方、都市に対する考え方、など根本的などころでの考え方の違いを感じました。
- ・都市のあり様を住民参加で決めていこうというドイツと、日本は親方日の丸的な、上からのお達し、提案を受け入れるかどうか、その手法の違いであると感じます。
- ・学生の頃は B プラン=地区計画に相当するものと理解していましたが、今日のお話を聞いて、まったく異なるものだわかって、とても勉強になりました。今、行政と仕事をするコンサルタントとして働いていますが、まちなみにそぐわない建物を簡単に認可されてしまうのは、行政に大きな問題があるのだらうと思いました。
- ・ドイツと日本の違いが戦後の反省ということ、そこから権利と義務、基本的人権を守ることを街並みや景観をつくることにつながっているという目がさめるお話でした。
- ・根底に人権尊重の意識の有無、戦争反省の有無があるという指摘は納得いたしました。
- ・お話が具体的でとてもよく理解できました。写真も多くてわかりやすかったです。神宮外苑の樹木伐採反対に共感して参加しました。「建物のデザインではなく、街のデザインなのだ。主眼は住民がいかに快適に過ごせるか」「行き当たりばったりで税金のムダ使い」との言葉が身にしみました。常盤台の話が特に興味深かったです。

「美しい街並みとは、そこに人の生活が見えること」と水島さんは講演のなかで強調されました。住民の声を引き出せる、そして想いを形にすることの必要性を感じました。東京支部として、大学と共催で企画に取り組めたことは、良い経験にもなりました。これからも支部の幅を広げる取り組みをしたいと思います。



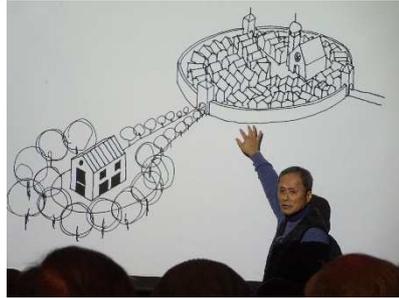
司会 柳澤氏



開会あいさつ 和田氏



質問進行と閉会あいさつ千代崎氏



二次会も楽しみました

# 鋸屋根に魅せられて

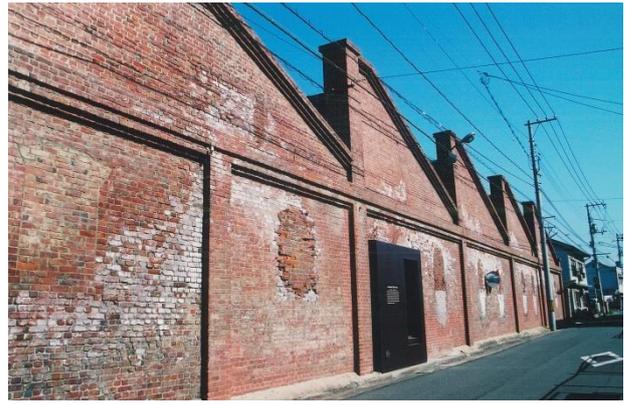
広島県尾道市向島町 写真家 吉田敬子

岡山の友人から、赤煉瓦造のこぎり屋根の写真に「負の遺産平和生む場へ」と掲載された、中国新聞（2008年版）の切り抜きが届きました。偶然にも私は岡山へ撮影出張の準備中でした。新聞記事の場所は広島県尾道市向島町で、岡山県の隣です。岡山県には歴史ある帆布工場があり、数回訪ねて撮影取材し「日本の産業遺産」として残しました。また近畿地方に残る鋸屋根工場も調べ、広島県尾道市向島にも帆布工場があることは資料で見っていました。向島（むかいしま）は、広島県尾道市に属する島です。向島は温暖な気候のため、柑橘類や花の栽培が盛んでした。工業は造船業です。大正8年（1919）は大戦ブームの最中で造船業の雇用が拡大していました。それに続いたのが、帆布工場でした。明治35年（1902）創業：松本帆布製織工場、明治35年（1902）創業：小西庄兵衛商店帆布工場、明治39年（1906）創業：倉田帆布製織工場、大正6年（1917）創業：廣川帆布工場、大正7年（1918）創業：日ノ出帆布工場、大正7年（1918）創業：備後帆布製織工場が登場している。とりわけ、松本・小西・倉田の帆布工場は職工100人を越える大工場でした。尾道の帆布は、トラックや軍器などのカバー、あるいは軍需産業の必需品として利用されたため、第一次世界大戦、太平洋戦争期には軍需物資として生産が拡大した。戦争中は綿産業が抑制されるが、帆布は特免綿織物でした。この歴史からみても向島の帆布工場は是非、訪ねたい。と準備開始です。

向島紡績工場：5連赤煉瓦鋸屋根（尾道市向島町）2008年撮影



尾道から向島までフェリーで約 15 分 100 円です。東西橋方面を歩くと、前方に赤煉瓦の鋸屋根です。壁に金属製のプレートの記念碑が取り付けられました。友人から届いた中国新聞の切り抜き記事がこれでした。話が聞きたくて向島紡績株式会社様を訪ねると、弊社では詳しいことは分からないと言われました。近くに郵便局があり訪ねました。予想外に詳しい資料や、山陽日日新聞（2001 年）のコピーなどを見せてくれました。建物は向島紡績の工場で 1918 年/大正 7 に帆布工場として建てられた。1928 年/昭和 3 海軍に借り上げられ、戦時中は捕虜収容所として開設された。イギリス軍捕虜アメリカ軍捕虜 216 名が収容され終戦までに病気などでイギリス兵 23 名が死亡。1945 年 8 月 15 日終戦。1998 年イギリスから元捕虜と遺族の団体 24 名が向島を訪問する。訪問団の帰国後、向島キリスト教会の牧師が教会からの支援と一般の人からも寄付金を集めて 2002 年捕虜収容所の建物があった向島紡績の協力を得て、赤煉瓦壁にメモリアルプレートを取り付けた。2004 年アメリカ兵も 1 名追加された。2011 年 12 月向島紡績の廃業が決まり「保存」の声は届かず解体・撤去が決まる。幸いにも跡地を引き継いだスーパーの厚意により敷地の一角を無償貸与してもらえ、2013 年 4 月 15 日向島捕虜収容所のメモリアルプレート除幕式が行われた。2008 年私は向島紡績の歴史も知らず鋸屋根を撮影していた。鋸屋根工場が捕虜収容所に使用された歴史と写真は記録に残しました。その後、郵便局へ写真を送ると貴重な写真を有難う御座いました。向島の歴史に保存します。と連絡を頂きました。「負の遺産平和生む場へ」



写真説明：上段より

赤煉瓦壁の鋸屋根とメモリアルプレート  
東西橋より向島紡績の煙突が見える町並み

## 建国記念日79周年(3)

9月2日はベトナムの建国記念日(国慶節)です。今から79年前の1945年9月2日、故ホー・チ・ミン主席が「独立宣言(Tuyen ngon doc lap)」を発表し、ベトナム民主共和国(Viet Nam Dan Chu Cong Hoa)が成立。東南アジア初の社会主義国家が誕生しました。

9月2日はベトナムの祝日で、2024年最後の祝日でもあります。2019年に国会で可決された改正労働法が2021年1月1日に施行されたことに伴い、2021年から建国記念日の祝日の日数が2日間となり、今年は8月31日(土)から9月3日(火)までの4連休となっています。

アジアニュースNo.23  
(ベトナム中心) TN

この項では、ベトナム民主共和国誕生の前史ともいべき歴史はどうだったのかを探ってみましょう！参考文献「一冊でわかるベトナム史」(岡田雅志著、河出書房新社出版)

### その一 前史の前史

★ホアビン文化 氷河期の末に東南アジアでは、石器の使用での狩猟・採集 岩山の洞窟

★フングエン文化 4000年前 新石器の時代 紅河の川べりなど

★金属器文化 3500年前 金属器の使用 稲作文化⇒農村の出現⇒物々交換⇒富の集中

★ドンソン文化 紀元前5世紀 青銅器文化 鉄器も使用⇒ドンソン銅鼓(権力の象徴) 北部

★雄王(フンヴォン)の伝説 ベトナム文化のルーツ キン族の民族意識

VIETJOの記事から「フン王(フンヴォン)命日~ベトナムの旧暦3月10日~」この日は、祝日に当たります。



文郎(バンラン)国の中心地だったとされる東北部フート省ベトチー市のフン寺 歴史遺跡地区

←フン寺にあるフン王  
ラック・ロン・クアンとオウ・ラック  
姫の銅像⇒

(筆者は、かつてベトチー市で会合があり、訪れました。広大な丘のたたずまいに圧倒されました。閑散期だったので、盛大な祭りの様子は実感できませんでした。また、初めて孵化直前のアヒルのゆで卵「ホビロン」を出され、無理やり食べた苦い思い出があります。)



★サーフィン文化 ドンソン文化と並行した時代 金属器文化 海洋民族 中部・南部

★徴姉妹(ハイバーチュン)の反乱 女性の英雄 中国漢王朝の時代における支配への反抗

★海のシルクロード 紀元前後 中国漢・ローマ帝国 ベトナム沿岸は船の中継地として発展

★林邑(のちのチャンパ) 7世紀 インド化の影響 中部 聖地ミーソン遺跡 ヒンドゥ教の影響



★安南都護府 8世紀 阿倍仲麻呂ハノイへ のちに唐王朝衰退に伴い自立・独立の動きあり

★李太祖(リータイトウ) 1009年 李朝 ハノイへ遷都し昇竜(タンロン)城と改名 諸クニの連合体

←リータイトウ記念像(ハノイ、ホアンキエム湖近く)

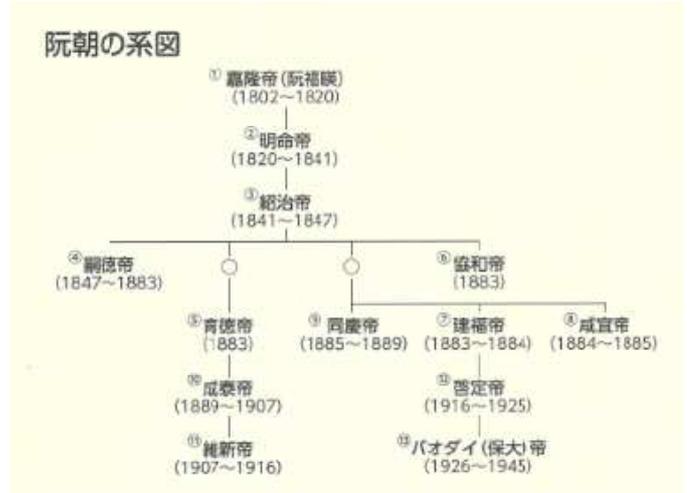
★元寇 1282年 1284年 1287年 白藤江の戦い モンゴル帝国の影響 大越意識 農業の安定

★交易の時代 16世紀 倭寇 ホイアンの日本人町 朱印船貿易 国内三国並立時代

★華人の世紀 17世紀 中国からの移民(多くは南部) シナモン・鉱物資源 メコンデルタ

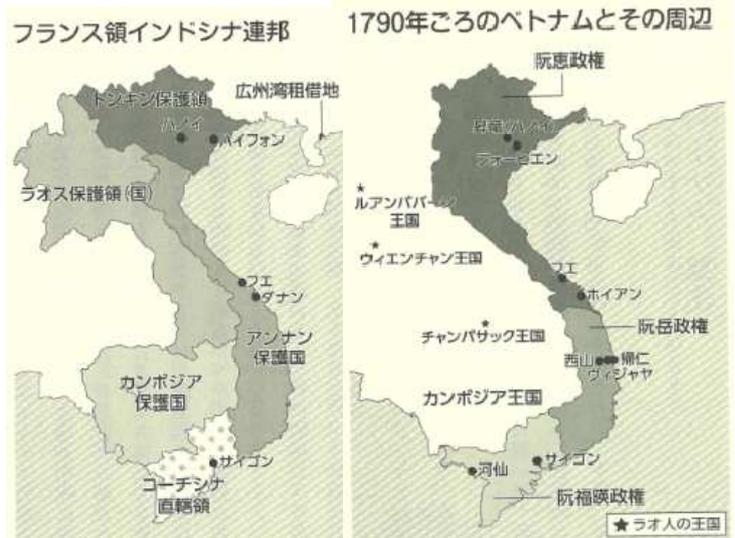
その二 前史

- ★西山(タイソン)阮氏三兄弟の反乱 1771年 チャンパの都ヴィジャヤ近郊⇒中国清軍破る⇒阮福暎が統一
- ★阮福暎(グエンフックアイン)がフエで即位嘉隆(ザーロン)帝 1802年 越南(ベトナム)の国号中国清朝認



↑フエ城跡

- ★明命(ミンマン)帝即位 1820年 儒教での中華思想 科挙制度⇒シヤムの武装蜂起
- ★フランスの植民地政策 1862年 コーチシナ植民地⇒1885年阮朝保護国化決定
- ★フランスの分割統治 1887年
- ★プランテーション(ゴム、コーヒーなど)、石炭 メコンデルタでのコメ輸出の増大
- ★フランスによる鉄道建設(ハノイ⇒中国国境) インフラ整備⇒ベトナム人コミュニティの発達
- ★「東遊(ドンズー)運動」⇒日本への留学 ファン・ボイ・チャウ⇒越南維新会 帝国主義への抵抗
- ★フランスによる植民地支配の正当化⇒ 国語(クオックグー)による教育、インドシナ大学設立(ハノイ)
- ★ホーチミン登場 第一次世界大戦後⇒ 社会格差の増大⇒民族運動の高揚
- ★ベトナム青年革命同志会結成 1925年
- ★ベトナム共産党設立 1930年
- ★日本軍の襲来 1937年 日中戦争⇒1939年第二次世界大戦 ⇒日本軍の仏印・南方進出
- ★ベトナム独立同盟(ベトミン)の結成 1941年 民族統一戦線
- ★独立宣言 日本の降伏⇒バオダイ帝の退位



その三 後史

- ★ベトミン偽装解散 1945年11月 北に中国軍、南にイギリス軍進駐 フランス進駐の復活
- ★フランスへの徹底抗戦呼びかけ⇒インドシナ戦争
- ★ディエンビエンフーの戦い⇒終結⇒暫定境界
- ★ゴー・ディン・ジエム大統領(南ベトナム)
- ★ホーチミンルート⇒武力統一の道
- ★アメリカ軍投入 1964年 北部への空爆開始
- ★テト攻勢 1968年⇒北爆停止⇒パリ和平協定
- ★ホーチミン作戦 1975年⇒4月サイゴン陥落
- ★ベトナム社会主義共和国 全土統一



住む人・使う人の立場で、  
住まいづくり、まちづくりを  
すすめています。



共同建替え「アリアシア鳩ヶ谷」

〒124-0001  
東京都葛飾区小菅4-22-15  
TEL：03-3601-6841  
FAX：03-3601-6944  
E-mail：zo-3@jade.dti.ne.jp  
http://www.zo-3.info

株式会社 **象地域設計**

#### 新建築家技術者集団 憲章

建築とまちづくりにたずさわる私たちは、国土を荒廃から守り、かつ環境破壊を許さず、人びとのねがう豊かな生活環境と高い文化を創造する目的をもつ。

私たちはこのことを認識し、行動するための目標をかかげ、ここに憲章を定める。

- 1 建築とまちづくりを、社会とのつながりの中でとらえよう。
- 2 地域に根ざした建築とまちづくりを、住む人使う人と協同してすすめよう。
- 3 建築とまちづくりの優れた伝統を継承し、理論や技術の発展と創造につとめよう。
- 4 人びとに支持される建築とまちづくりの活動をすすめ、専門性を確立しよう。
- 5 建築とまちづくりに関連する国内外の広い分野の人びととの交流をはかり、連帯を強めよう。
- 6 建築とまちづくり、生活と文化、自由のために平和を守ろう。

**住**み続けられる



株式会社  
**まちづくり研究所**

〒150-0013  
東京都渋谷区恵比寿 1-13-6 第二伊藤ビル 503  
TEL：03-5423-3470 FAX：03-5423-3479

住む人に、環境に、優しく・・・  
さらに美しさをお届けする

## ルナファーター

五感で味わう心地よい空間・・・

ルナファーターは、環境保護先進国「ドイツ」で広く普及している塗装下地壁紙。通気性や透湿に優れ、結露やカビの発生を抑えます。紙のパターンと塗装色の組み合わせで、お部屋の演出は思いのまま。模様替えやメンテナンスもそのまま塗り重ねるだけでOK。(10回程度可能) 廃材もほとんど出ないので、環境に優しい材料です。



(輸入元)日本ルナファーター(株)  
東京都港区南青山2-9-3  
青山JPビル 2階  
TEL 03-5785-2750

施工店(有)ルナファーター・テクノ  
東京都練馬区関町東1-28-9  
NPRビル内  
TEL 03-6904-7666  
TEL 03-6904-7888

※ルナファーター・テクノの住所  
が変わりました。

# 新協建設工業株式会社

## 平和であればこそ建築はよろこび

本社 台東区台東2-25-10  
東東京支店 江戸川区篠崎町3-1-3  
台東支店 (台東)台東区台東2-25-10  
西東京支店 (多摩)日野市神明4-22-13  
大阪支店 堺市寺地町東4-2-11  
石川支店 金沢市法光寺町207-4  
広島支店 広島市安佐南区相田6-1-7

TEL03-3836-2011 FAX03-3837-8450  
TEL03-3678-7471 FAX03-3678-7472  
TEL03-3836-2017 FAX03-3835-7380  
TEL042-584-7508 FAX042-584-7581  
TEL072-229-2873 FAX072-229-2874  
TEL076-257-2535 FAX076-257-2570  
TEL082-872-1727 FAX082-872-1728